

2015 年解析学特別演習 I テスト (6)

河東泰之 (かわひがしやすゆき)

数理科学研究科棟 323 号室 (電話 5465-7078)

e-mail yasuyuki@ms.u-tokyo.ac.jp

<http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~yasuyuki/>

解答用紙の一番上に学生証番号と氏名を書いてください。

このテストは, ノート持ち込み可で行います。電子機器の使用は不可です。

途中の計算, 説明などをきちんと書いてください。答案用紙は 1 枚両面です。それに収まるように書いてください。

[1] 次のすべての条件を満たす測度空間 (X, \mathcal{B}, μ) とその上の可測関数列 $\{f_k\}_{k=1,2,3,\dots}$ の例を挙げよ。

(1) すべての $x \in X$ について $0 \leq f_k(x) < \infty$.

(2) どの $x \in X$ についても $\lim_{k \rightarrow \infty} f_k(x)$ は無限大を含めても存在しない。

(3) $\lim_{k \rightarrow \infty} \int_X f_k d\mu$ は無限大を含めても存在しない。

(4) $\int_X \liminf_{k \rightarrow \infty} f_k(x) d\mu < \liminf_{k \rightarrow \infty} \int_X f_k(x) d\mu$.

[2] f を \mathbb{R} 上の複素数値 Lebesgue 可積分関数とする。任意の $\varepsilon > 0$ に対し $N > 0$ が存在して, $\left| \int_{\{|x|>N\}} f(x) dx \right| < \varepsilon$ となることを示せ。

[3] f を \mathbb{R} 上の複素数値 Lebesgue 可積分関数, E を \mathbb{R} の Lebesgue 可測集合で $\mu(E) < \infty$ とする。 $\lim_{t \rightarrow \infty} \int_{\mathbb{R}} f(x) \chi_E(x+t) dx = 0$ であることを示せ。

[最初 $\mu(E) < \infty$ の条件が抜けていました。すみません。]

[4] $g(x)$ を測度空間 (X, \mathcal{B}, μ) 上の可測関数で, $[0, \infty)$ に値を持ち, $\int_X g d\mu = \infty$ となるものとする。この時以下のすべての条件を満たす X 上の可測関数の列 $\{f_k\}_{k=1,2,3,\dots}$ が存在することを示せ。

(1) すべての $x \in X$ について $0 \leq f_k(x) \leq g(x)$.

(2) すべての $x \in X$ について $\lim_{k \rightarrow \infty} f_k(x) = 0$.

(3) すべての k について $\int_X f_k d\mu = \infty$.